

ART INFORMATION

「美」との出会いを提供して1世紀。暮らしに「アート」をお届けします。

横浜高島屋美術画廊のご案内

11月

November 2025



松岡 歩「沼の幸」33.3×53.0cm(10号M)

●会期:10月29日(水)～11月3日(月・祝)

松岡 歩 展 — 想いが伝わるとき — 〈日本画〉

■ギャラリートーク ●11月1日(土) ●午後3時から

※ギャラリートークに関する情報は横浜高島屋ホームページをご覧ください。

◎美術画廊は毎週火曜、会場準備のため閉廊、最終日は通常通り営業いたします。

※都合により営業時間・催し内容が変更になる場合がございます。また、商品の販売中止・販売期間が変更になる場合がございます。

高島屋の美術

高島屋各店美術画廊・
展覧会のご案内



横浜高島屋美術画廊のご案内は
【公式】横浜高島屋美術画廊
のInstagramでも
ご覧いただけます。



●会期:10月29日(水)～11月3日(月・祝)

松岡 歩 展 — 想いが伝わる時 — 〈日本画〉

1978年神奈川県横浜市出身。2010年東京藝術大学大学院美術研究科博士課程美術専攻日本画修了博士号取得。日本美術院(院展)にて積極的に取り組み、個展・グループ展へも精力的に発表をつづけています。ライフワークとする動物や両生類、海の生物などを描く中で、人間社会にも存在する様々な心、気持ち、想い等の感情的なものをそれぞれの佇まいや目線、群れる姿などを通じて表現されています。何気ない動物などを交えた景色の中から伝えられる「想い」の数々をこの機会にぜひご高覧ください。



「雪香」72.7×60.6cm(20号F)

■ ギャラリートーク

●11月1日(土) ●午後3時から

※詳しくは横浜高島屋ホームページをご覧ください。

●会期:11月5日(水)～10日(月)

卒寿記念 杉本玄覚貞光 不易展〈陶芸〉



「小井戸茶盃」14×H7.8cm

年月を経た中にも新しく変化を重ねているものを取り入れて行くこと、それはまた、新味を求めて変化を重ねて行く流行性こそ不易(変わらない事)の本質であるとの禅の教えを胸に、作陶を続けられる杉本先生。忘れられてしまいそうな、わびさびの作品を手にとってもらいたいという信念で卒寿を迎えられた今展でも新たに挑戦された「青瓷」を加え、数々の作品を一堂に展観いたします。

●会期:11月5日(水)～10日(月)

小島久典展 Helix temporis 〈彫刻〉



1986年広島県生まれ、東京藝術大学彫刻科で深井隆氏に学び、大学院では籾内佐斗司氏が指導する文化財保存学に進んだのち、博士後期課程を修了。最も難度の高い細密技法と巧妙な古色表現の木彫を発表し国内外で人気を誇っています。今展では「時の螺旋」をテーマに蝶・蛾と歴史的背景を装った人物像の2種類のモチーフを中心とした新作を展覧します。

「A Species of Floral Organ: 320 A.D. “花器官の一種:西暦320年”
H24×W28.5×D22cm 檜

●会期:11月12日(水)～17日(月)

第30回 手のひらの小宇宙 現代根付展〈彫刻〉

根付は印籠や煙草入れなどを持ち歩くために帯の下をくぐらせて留具とした江戸時代から続く装身具です。この実用を兼ね備えた“用の美”からくる独特な造形とユーモアとウィット、文学性あふれた表現が特徴になっています。現代作家による新たな根付の世界観をどうぞご高覧ください。



栗田元正「慟哭」(鹿角)4.3×H6.3cm

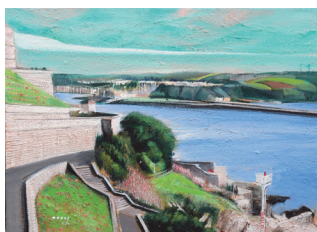
■ 国際根付彫刻会会長 向田陽佳先生によるギャラリートーク

● 11月15日(土) ● 午後2時から

※詳しくは横浜高島屋ホームページをご覧ください。

山本 正英 展 〈洋画〉

— 変容する英国、変わらぬブリテン島の今を描く —



「プリマス港」24.2×33.3cm
(4号F) キャンバス・油彩

英国の古城・スカボローキャッスルの崩壊した造形美に魅せられたことを機に英国各地を取材、以来30年にわたりその地特有の変化に富んだ色彩を描き続けています。描かれた「英国風景」は、英国独特の気候による淡く湿度を帯びた柔らかな陽光と、長い歴史を経た建築物と現代建築の文化的共存とを豊かな時の流れとして昇華していきます。画家の眼によって紡ぎ出される豊穡の英国風景を、この機会にぜひご高覧ください。

●会期:11月19日(水)~24日(月・休)

星をあつめて〈絵画〉



都会の灯はますます明るく、星の煌めきを身近に感じる事が少なくなる現代。それでも星々は、何億年の時を経て地上の私たちに空一面の美しい光の瞬きを届け続けます。今展は、この星の煌めきを、ジャンルを越えた作家たちの感性によって表現された星の数々を一堂に展覧いたします。

【出品作家】(五十音順・敬称略)

磯部 絢子・江上 秋花・大浦 雅臣・後藤 まりえ・
小宮 絵莉・楚里 勇己・全 民玉・中村 彰良・
中村 貴弥・中村 勇太・村上 生太郎・
谷中 美佳子・藪崎 次郎 ほか

全民玉「世界をみるための道具」
33.3×24.2cm(4号F)

志野 林 友加 展 〈陶芸〉

志野焼の伝統技法をベースに、現代の暮らしに合うように再構築した作品を制作。ピンクやグレーなど、柔らかく優しい色合いを用いた作品の他、とても珍しい黒い土を使った志野は独自の発想から生まれた革新的な表現になっています。ぽってりとした厚みのあるフォルムや立体作品など使い手の感性に響く作品をどうぞご高覧ください。



「ピンクグレー茶碗」12.2×H10.4cm

●会期:11月26日(水)~12月1日(月)

田島 周吾 日本画展

日本画という伝統的で少し堅苦しく思われがちなジャンルの中で、美しい岩絵具の色彩を活かしつつ、観る人が思わずクスッと笑ってしまうような、そんな楽しさを感じてもらえる作品を目指し制作している田島先生。日々挑戦と研究を重ねながら、先生ご自身も絵を描くことを楽しんでおられます。今展では4mを超える大作から小品まで、摩訶不思議な田島周吾の世界観を伺える作品の数々を、一堂に展覧いたします。

(※一部抽選販売)「梅椿堂」53.0×41.0cm(10号P)



12月の予告

●会期:12月3日(水)~8日(月)

八代 吉向 十三軒・翔平 茶陶展 / 久保 尚子 展〈洋画〉

●会期:12月10日(水)~15日(月)

フジイ フランソワ 展〈日本画〉 / 市岡 真治・留守 玲 金工展

●会期:12月17日(水)~22日(月)

Unknown World~見慣れた光景とその向こう側〈総合〉

●会期:12月24日(水)~1月5日(月)

頌春展〈絵画・工芸〉

●会期:12月24日(水)~1月12日(月・祝)

茶道具初春の会